

平成19年6月定例会会議録（第2号）

平成19年6月8日 金曜日 午前10時00分開議

佐々木 謙 二 議長 町 田 義 昭 副議長

出席議員（18名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	町 田 義 昭	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋 谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	16番	鈴 木 新 助	議員
17番	蒲 生 吉 夫	議員	18番	佐々木 謙 二	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
遠 藤 健 司	自立経営対策室長	平 進 介	総務課長兼選挙管 理委員会事務局長
松 本 弘	財 政 課 長	松 木 幸 嗣	企 画 調 整 課 長
中 井 晃	税 務 課 長	浅 野 敏 明	市 民 課 長
船 山 祐 子	健 康 課 長	平 英 一	福 祉 事 務 所 長
高 橋 信 夫	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	飯 澤 孝	消 防 主 幹
飯 田 武 志	監 査 委 員	田 中 勝 男	教 育 委 員 長
大 滝 昌 利	教 育 長	安 部 嘉 徳	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長
小 関 秀 一	農 業 委 員 会 会 長	遠 藤 正 明	農 林 課 長
齋 藤 理 喜 夫	商 工 観 光 課 長	鈴 木 一 則	建 設 課 長
鈴 木 義 一	管 理 課 長	那 須 宗 一	文 化 生 涯 学 習 課 長
鈴 木 要 一 郎	農 業 委 員 会 事 務 局 長	渡 部 政 明	水 道 事 業 所 長
佐 藤 孝 博	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長	沼 澤 厚 子	監 査 委 員 事 務 局 長

+

事務局職員出席者

佐藤 仁	議会事務局長	児玉 行宏	補	佐
五十嵐 恵美子	庶務係長	塚田 知広	主	任

議事日程（第2号）

平成19年6月8日 金曜日 午前10時00分開議

日程第1 市政一般に関する質問

- 10番 高橋 孝夫 議員
- 6番 蒲生 光男 議員
- 8番 安部 隆 議員
- 4番 大道寺 信 議員
- 17番 蒲生 吉夫 議員

本日の会議に付した事件

十 議事日程（第2号）に同じ

+

+

開 議

○佐々木謙二議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、山形新聞長井支社長からはカメラとパソコン使用について、朝日新聞米沢支局からはカメラ使用について、NHK米沢報道室、山形放送、山形テレビからはテレビカメラ使用について申請があり、それぞれ許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○佐々木謙二議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、順次ご指名いたします。

高橋孝夫議員の質問

○佐々木謙二議長 順位1番、議席番号10番、高橋孝夫議員。

(10番高橋孝夫議員登壇)

○10番 高橋孝夫議員 おはようございます。

私は、市民生活の向上と長井市の行財政運営が誤りなく展開することを願いながら質問を行います。通告をしております3点につきまして順次質問申し上げますので、市長の明快な答弁をいただきますようお願いをしておきたいと思っております。

質問の第1は、市の人事政策についてです。

平成19年度の人事異動方針が示され、4月1日付で人事異動が発令されていることはご案内のとおりです。

人事異動方針では、前書きで次のように触れていますので、紹介をしたいと思います。

来年度の市政運営における最大の課題は直面する財政危機の突破であり、平成19年度を財政危機脱出元年と位置づけ、現行の自立計画などを再構築し、行財政運営の健全化を進めていく必要があります。こうした課題を含め、変革期にある地方行財政制度のもとで、複雑・多様化する時代の要請に対応していくためには、適材適所と人材育成の視点を基本としながら、職員個々の能力を最大限発揮できるような組織運営が求められています。このたびの人事異動については、職員の士気高揚と組織の活性化に意を用いながらも、待たなしの行政課題に即応する必要があること、職員の専門的能力の向上と活用が不可欠であることなどを考慮した結果、例年並みの異動規模となりましたというふうに書かれています。そして、10項目について、具体的に触れられていることもご案内のとおりです。

私は、この人事異動方針が示され、実際に人事異動が行われている中で、1つは、新しい年度がスタートしたばかりなのに、既に職員が途中で退職をしてしまっていること、2つは、本当にこの人事異動による体制で、業務量をこなすことができるのかどうか疑問に感じることに、3つは、財政危機脱出元年としてスタートするにふさわしい人事異動なのかについては少な

+